



顧客事例

## 西野金陵がSunSystemsで 外貨建て債権、債務管理の 業務効率化を実現



### 早見表

ソリューション: FM

プロダクト: Infor SunSystems

業種: 化学

国: 日本

“我々が必要としている機能を搭載し、かつ価格に見合ったパッケージ製品が見あたらなかったため、外貨建ての債権管理業務は手作業に頼るところが多く、非常に時間がかかっていました。

SunSystemsを導入したことで、多くの課題が解決できました。今後のシステム統合に向けた第一歩としては非常に満足しています。”

化学品事業部 取締役管理本部長  
兼 大阪支店長 角田健氏

### 会社概要

社名: 西野金陵株式会社

創業: 1658年 (万治元年: 化学品事業部)

1789年 (寛政元年: 酒類部)

設立: 1918年9月25日 (大正7年)

所在地: 大阪市中央区 (化学品事業部)

資本金: 2,700万円

従業員数: 213名

業種: 染料、顔料、医薬品、化学工業薬品

油脂、助剤、合成樹脂、中間物の販売および輸出入を事業として展開しています。同社についての詳細は<http://www.nishinokinryo.co.jp/> をご覧ください。

163-1035 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーS35階  
03-6911-2530 infor.co.jp

Copyright 2012 Infor. 著作権所有。本書に記載されている言語表現およびデザイン記号はInforおよびその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。本書に記載されているその他すべての商標は、対応する所有者の所有物です。www.infor.co.jp

INF1230003-1279874-JA-JP-0213-2

### 会計業務の外貨対応が急務に

西野金陵株式会社は、酒造業、酒類食品総合卸売業、化学製品業の3つの事業に加え、樹脂事業では合成樹脂を中心にグローバルに展開。その一環としてSunSystemsを採用したグローバル会計システムを構築。それまでは1998年に導入された会計システムで老朽化が進んでおり、特に外貨への対応がされておらず、海外との外貨建て取引の債権、債務管理が煩雑で、検証作業に多大な時間を要し、外貨での正確な売掛、入金、買掛、支払い、為替差損といった情報の把握が非常に困難であった。また、事業や取引の正確性、透明性と言った企業としての説明責任という、会計監査の側面からも大きな課題となっていた。そこで2009年末より、外貨対応会計システムの導入プロジェクトをスタート。検討を重ねた結果、2010年2月にグローバル会計システム実現に向けた基盤技術としてSunSystemsの採用を決定。

### 短期導入、費用対効果など評価

化学品事業部では2010年3月より導入作業開始、同年8月にシステムをカットオーバー。一部部門での運用を開始し、2012年5月より各支店の営業担当者向けに公開する本番運用を開始。大阪支店 総務部 部長 堀切洋一氏は「導入が短期間で可能なこと、社内に専属のシステム担当者がいないため、システム構築に人的リソースを割く必要がなく、コストパフォーマンスが高いことなどを評価して導入を決めた」と話す。また「大手企業から中堅・中小規模の企業まで幅広い分野での採用実績があり、稼動状況に関しても実際に導入企業を見学でき、様々な意見、感想も聞けたことで、第三者からの評価や導入後のイメージがしやすくなったことも採用を決めた大きな理由」と話している。

### 統合に向けた第一歩として満足

同大阪支店 総務部 主任 越後英俊氏は「SunSystemsの導入で、外貨取引の最適化が可能になりました。元帳からのデータ抽出、データ入力の仕組みをMicrosoft Excelを介して自由に作成することができるので、営業担当者が見たい形式にカスタマイズすることができ非常に便利です。今後の他の業務システムとの統合に向けた第一歩としては非常に満足しています」と話している。